

# 整形外科外来だより

No 25 2012/10/15 けいゆう病院 整形外科 発行

## ◆ 異動のお知らせ

1年間、当科で外傷を中心に診療してきた白澤医師が、9月末に異動・退職しました。白澤医師が主治医となっていた患者様には、ご迷惑をおかけすることになり大変恐縮ですが、ご理解の程よろしくお願ひ申し上げます。10月からは大濱医師・寺坂医師が赴任し、整形外科は7人体制となりました。異動に伴い11月から一部の医師の初診・再診日に変更となります。ご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願ひ申し上げます。

## ◆ 痛み止めのお薬について（その3：麻薬に似た薬）

その1では、ロキソニン・セレコックスなど消炎鎮痛剤について説明しました。その2では、リリカという神経の痛みには効果がある薬について説明しました。今回は、トラムセット・ノルスパンテープという麻薬に似た薬について、説明させていただきます。

麻薬というと一般に悪いイメージを持つ方が多いと思います。しかし、医療の現場では、がんの痛みに対してモルヒネなどの麻薬が以前から使用されてきました。モルヒネはアヘンから取り出された薬で、オピオイドと呼ばれる鎮痛薬のグループに属します。麻薬とオピオイドという用語は混乱してしましますが、意味が違います。麻薬は依存性や毒性が強いために国が指定した一部の薬剤です。オピオイドは薬の効く仕組みが共通している鎮痛薬のグループです。モルヒネなど多くのオピオイドが麻薬として指定されています。しかし麻薬ではないオピオイド、オピオイドというグループに入らない麻薬もあります。今回説明する2種類の薬は麻薬ではないオピオイドになります。

オピオイドは、がん疼痛だけでなく、外傷や手術後の痛み・更に腰痛や膝関節痛などの慢性疼痛にも効果があります。以前は、がん疼痛にしか使用が認められていませんでしたが、近年、慢性疼痛に対しても保健医療で使用可能になりました。長期間疼痛が継続している方や消炎鎮痛剤などの薬で効果が不十分な患者様が対象となります。吐き気や便秘などの副作用がありますが、少量から開始し、必要に応じて吐き気止めを併用することで、多くの場合は対応できます。麻薬と似ていることが心配と思いますが、通常の処方量では依存性は非常に少なく、上手に使用すれば痛みの改善が期待できるいい薬です。トラムセットは1日3-4回の飲み薬、ノルスパンテープは小さな貼るタイプの薬で週1回交換です。またトラムセットはオピオイドと解熱鎮痛剤を組み合わせた薬であり、内服後早期に効果が期待できるという特徴があります。

どちらの薬も非常にいい薬ですが、副作用もあり安易に使用するべきではありません。主治医と相談しながら処方量を調節し、効果がない場合は漫然と継続するのではなく中止についても相談して下さい。

(文責 川崎俊樹)